



# CM伝塾





### ■活動目的■

この塾の目的は、昨年度から引き続き、長崎伝習所のCMを作ることでした。CMは、魅惑的なイメージによって視覚と聴覚を刺激し、視聴者がまだ気づいていない未来の欲望を呼び起こし、イメージに近づくためのアクションを起こさせることを目的に作られます。ただし、イメージは決して嘘であってははいけません。あくまで現実に忠実に、「あなたはそれでいいのですか?」といった、今の生活に対する微かな不満への問いかけと、「こうすればあなたは本来の自分を取り戻すことができるのです」という希望を控えめに提言することに留める恭しさがCM制作には不可欠なのです(参照: Berger, John.1972 *Ways of Seeing*. PENGUIN BOOKS LTD)。

そのため、この塾では、手分けをして徹底的に各塾に対する取材を行い、各塾活動の実情に即した魅力的なイメージを探索することを大きな目標にしました。そして、魅力的なイメージを発見できたら、それを短い映像作品にまとめ、各塾のCMや長崎伝習所のCMとして、マスメディアの協力を得て放送し、CMを目にした人びとに、長崎伝習所に対する興味と、塾活動に参加したいという意欲をもってもらうことをめざしました。

### ■活動内容■

まずは、取材の日程調整、撮影、編集といった一連の制作過程に責任をもつ各塾の担当者を決めました。次に、塾生達が取材によって見つけ出した各塾の魅力を、塾ごとに、わかりやすい形で1分間のCMにまとめました。

そして、見つけ出した魅力的なイメージを、塾生の個性を反映した長崎伝習所のPR作品として表現しました。

最後に、制作した作品を、多くの方々に見ていただくために、放送局に番組企画として持ち込み、放送していただきました。また、今年度は「長崎伝習所まつり」の公式ポスターやTV番組を使った「長崎伝習所まつり」の宣伝も当塾で担当させていただきました。

### ■活動成果■

取材に伺ってみて、長崎伝習所の活動の根底に、「多様な人間の存在と多用な才能へのアクセス：人々を混ぜ合わせる」ことを核心にもつ「創造的都市」につながるエートスを感じ、確認することができました。1970年代以降、モノを速く大量に売りさばくことで世界を拡大し、人間を馴致させていくという〈近代〉の手法に未来がないということが明らかになりました。〈近代〉の甘い蜜と毒を味わい尽くしてきたヨーロッパの諸都市では、〈近代〉型ではない、持続可能な環境構築の手がかりが模索され始めました(参照: Landry, Charles.2000 *The Creative City: A Toolkit for Urban Innovators*.UK/USA:Earthscan Publications Ltd.)。

取材に伺った多くの塾で、立場や意見の異なる人々が同じ卓を囲み話し合うことが活動の中心に据えられていました。特に、「ステークホルダー」、「イノベーション」、「エコ名人」といった通常では耳にしないう単語を

敢えて塾名に冠して活動されている塾では、制度的には異なる職業や所属集団を持つ方々が、時間の無い中で集い、〈近代〉型ではない生活環境構築の可能性について知恵を出し合うことが大きな目的となっていました。これらの塾のCMを制作する場合には、Landryが指摘する都市が創造性を手に入れるためには不可欠な、「集いの多様性」が、映像を通して視聴者にアピールできるように工夫しました。

また、Landryによると、ネットワークが、創造的都市に有効な社会資本としての機能を果たすには、「よそ者」と「内輪の者」の均衡を見出すことが不可欠であるとのこと。よそ者や若者の新鮮さと明晰さは、内輪の者の所有感覚に根ざした深い知識と確固としたアイデンティティに受け止められることで初めて有効となります。「うんすんかるた」や、「史跡」といった文化遺産の維持や普及に尽力されている塾のCMでは、土地に根を下ろすことに責任と誇りをもって生きて来られた方々を多く擁する長崎という土地の、新しいものを受け止めるための底力の維持と創造が上手く伝わるように力を尽くしました。

CM伝塾は、メディア・アートやメディア・コミュニケーションを学ぶために、他の地域から長崎にやってきた学生を中心に結成されています。ビットの世界／ネットの世界でのコミュニケーションや自己表現はお手の物ですが、アトムの世界／リアルの世界での発言や表現には不得手な者が多くを占めています。各塾の取材や、伝習所まつりの準備、公式ポスターの制作、TV番組やスクリーンでの上映といった様々な活動を通して、よそ者である当塾の塾生達のやりたいこと、表現したいことに、根気強く付き合い、耳を傾け、

真摯な対応をしてくださったことに、深く感謝いたします。塾生達は、名前、地位、立場、身体を明確に提示して行う現実の議論や批評、コミュニケーションに、最初はとまどい、不安も感じたようでした。しかし結果的には、匿名で顔を隠したネット上の言論界や批評会で議論を重ね、作品の評価をしあうよりも、大きな満足感とスキルアップを実感しておりました。

このような当塾の塾生達の成長する姿を皆様に見ていただくことによってこそ、長崎伝習所に参加することで得られる「良い変化」や「本来の自分や人間関係」を取り戻す過程、公的機関や大人との相互作用から得られる安心感や安定感といった効果がPRできたのではないかと考えております。

最後に、技術的・産業的なハード面からではなく、芸術や心性といったソフト面から〈近代〉がもたらした傷や歪みを癒すことに目を向け、力を注ぐ若い人々の塾活動を取材でき、長崎伝習所の底力と未来への潜在力を紹介できたことを嬉しく感じたことを記しておきます。

私達の塾は今年度で活動を満期終了いたしますが、今後も長崎伝習所が末永く「創造的都市」の礎を築かれていくことをお祈りいたします。



活動風景

## 1. 塾CM制作

### (1) 発見！実現！ 体験楽習塾



### 発見！実現！体験楽習塾

森彩佳

今回でカメラを持ったのがたったの3回目  
で、撮影は戸惑うことが多かったです。カメ  
ラの使い方を教えてもらいながら、どうい  
う画が使えるのかも分からず、興味深いオモ  
チャを触るような感覚で撮っていました。

リアルタイムで変化する状況をカメラで捉  
えることは、自分にとってはとても難しく悩  
みました。また被写体の方々とどういう風に  
接したら、うまく撮影が進むのかが一番の悩  
みどころでしたが、塾のみなさんがとても協  
力的だったので助かりました。

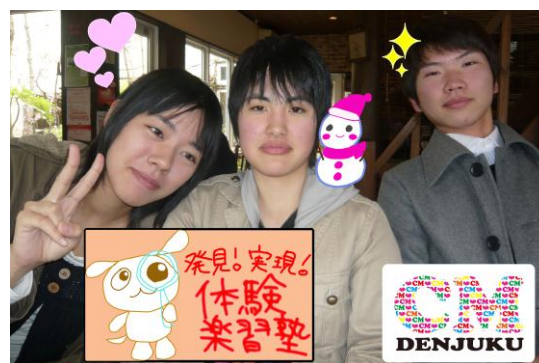
道野慎悟

楽習塾は、生きづらさを感じている青少年  
の成長を目的とする塾です。メンバー塾生と  
リーダー塾生にわかれて活動しています。メ  
ンバー塾生が自己の魅力を発見し社会や他者  
とのコミュニケーションの実現を塾活動で体  
験していこうというものです。そのため取材  
では、塾生の方々の笑顔との繋がりが現れて  
いる部分を撮影することに重点を置きました。

野球や釣り、海水浴などアクティブな活動  
を行う塾なので、塾生の表情や体の動きのある  
映像を撮ることができました。また、この  
塾は、毎回活動場所が異なるため、より多く

の映像素材を集めることができました。

笑顔を撮影するためにこちらから積極的に  
話し掛け、メンバー塾生の活動にも参加しま  
した。このことが、本当の笑顔や真剣に取り  
組む姿を撮影することに繋がったと思います。  
取材した私も共に楽しむことで、塾生のみな  
さんが、楽しむ瞬間を知り、その瞬間をカメ  
ラに収めることができたのではないかと思っ  
ています。



取材日

08年8月20日：夏季集中セミナー準備  
森彩佳・道野慎悟

08年8月27日：夏季集中セミナー準備  
大平香織・森彩佳

08年8月28日：夏季集中セミナー/野球  
大平香織・森彩佳・道野慎悟

08年8月29日：夏季集中セミナー/海水浴  
大平香織・森彩佳・道野慎悟

08年12月10日：冬季集中セミナー準備  
道野慎悟



取材中！

## (2) おはなし音楽塾

重島加奈

今回、長崎伝習所のCM伝塾に参加し、初めての取材、撮影、編集で分からないことだらけでしたがいろいろなことを学ぶことができました。取材に積極的に協力して頂き、楽しく取材することができました。実際にCMの制作に入ってみると「正面から撮影してればよかった」など編集中に後悔することがありました。

CMでは「塾長をはじめ塾生の皆さんの雰囲気、楽しそうに活動される様子を表現できればいいな」と思いました。

また、発表会での子どもたちや保護者の様子も伝えることができればとも思いました。撮影した映像を分割し、絵本のタイトルを順番に表示するなどのテクニックを使って良い作品になるように頑張りました。

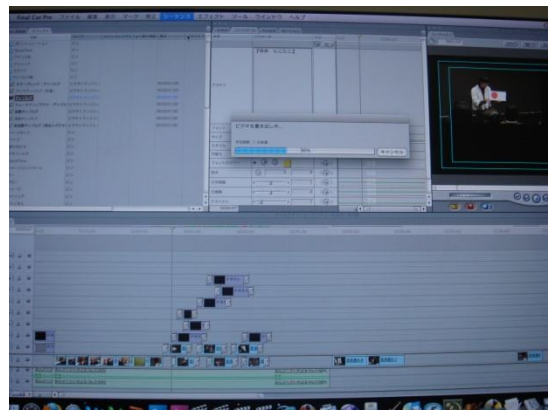
鶴田由佳

今回、おはなし音楽塾のCMを担当させて頂きましたが、撮影も編集も初めてのことで不安がありました。ですが、こういう機会がなければ編集することもなかったかと思うのでよかったです。実際に編集に入ってみると、「こういうシーンが欲しかったな」とか「ここは顔のアップがよかった」など意見が出てきて、撮影、取材の大切さがわかりました。

編集では、『おはなし音楽会』で実際に演奏されていた曲を使わせていただき、優しい感じのCMになるように、塾生の方の笑顔なども入れて工夫しました。



編集中の二人



編集画面



企画についてのグループワーク

### 取材日

08年08月20日：長崎ブリックホール

08年11月14日：長崎県立図書館

09年01月31日：長崎県立美術館

### (3)「エコ名人を探せ！」塾

森永真名美

今まで何度か撮影や編集作業に取り組んできましたが、取材させていただくという機会が一度もありませんでした。今回初めて「取材」を経験したので、何を撮影すればいいのかなど事前に考えることができず、構想を考えるのが非常に難しかったので、思ったように上手く撮影ができませんでした。

不安な中での取材でしたが、「エコ名人を探せ！」塾のメンバーの方々に、とても親切にさせていただき落ち着いて撮影に取り組むことができました。本当にありがとうございます。

今回取材したことで、視野を広げることができ、技術的にも精神的にも大きく成長することができました。良い経験となったので、今後の自分自身の活動にも生かしていきたいと思います。



編集中！

小林由香里

定例会での塾生の活発な意見交換や、「みどりのカーテン」「エコクッキング」など、実践的な活動情報の取材ができました。

取材を通して私までエコに興味を沸かし、エコバッグを持ち歩くようになりました。楽しそうにエコ活動に取り組んでいる塾生の皆さんの今後の活動が楽しみです。



横尾西部自治会農園見学取材

#### 第1回取材

日時：08年09月09日

場所：長崎市民会館

取材者：森永真名美

内容：エコキャンプ打ち合わせ

#### 第2回取材

日時：08年10月16日

場所：長崎市民会館

取材者：江口真奈美、小林由香里、  
古田友美・森永真名美

内容：「緑のカーテンコンテスト」準備

#### 第3回取材

日時：08年10月18日

場所：長崎県総合体育館

取材者：小林由香里、森永真名美

内容：緑のカーテンコンテスト当日

#### 第4回取材

日時：08年11月11日

場所：長崎市民会館

取材者：森永真名美

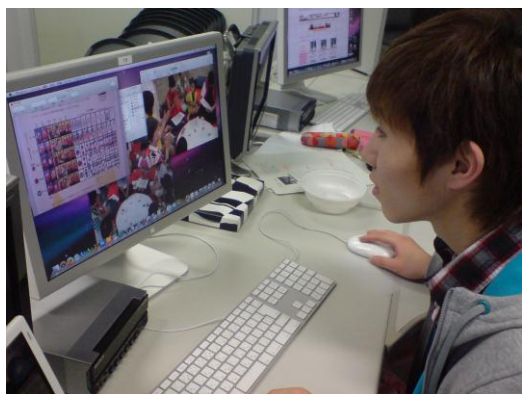
内容：研修旅行打ち合わせ

#### (4) 長崎うんすんかるた塾

松田太一

取材経験のない私達にも親しみやすく話しかけていただき、うんすんかるたの遊び方も丁寧に教えてもらいました。塾全体も親しみやすい雰囲気、一般の参加者の皆さんも教わりながら、一緒に楽しんでおられました。

実際にうんすんかるたを遊ばせてもらい、とても頭を使うゲームで、気付くと真剣に取り組んでいる自分がいました。親子の参加者の方もみんな笑顔で取り組んでいるのを実際にみて、大人から子供まで楽しめるものだと知りました。スケジュールの都合が合わず、結局1度しか取材に行くことができなかったことが残念です。うんすんかるたに興味を持ってもらい、楽しさを伝えられるCMが作れていれればと思います。



編集中！

堀池芙美子

撮影当日に初めてお会いしたにも関わらず、笑顔で私達に接してくださいました。事前準備が忙しい中で、うんすんかるたの遊び方を教えてください、とても撮影がしやすい環境でした。撮影をするだけでなく、実際にうんすんかるたを体験しました。カードが多く、ルールが複雑だったので、最初は塾の方に教えてもらいながらでした。「1人では絶対無

理！」と書いていたのですが、最後には相手の持ち札を推理して、どうやって勝とうか、と考えられるほどになりました。大人だから、経験者だから勝てるわけではないので、本当に誰もが楽しめる遊びだと感じました。

うんすんかるたの楽しさを伝えられ、1人でも多くの方が興味を持ってもらえるようなCMになればいいなと思います。



取材日

日程：08年7月21日

場所：長崎歴史文化博物館

取材者：松田太一・堀池芙美子

内容：

- れきぶんカルタ大会にて一般の参加者とのうんすんかるた遊びの撮影。
- うんすんかるたの遊び方を教わる。



カルタ大会取材

## (5) 新長崎市の史跡探訪塾

中村真理子

史跡探訪塾は、長崎の史跡について文献等で調査を行い、実際に史跡のある土地を訪れ、その研究結果を冊子にまとめるという活動を行っていました。私は、塾長の田端さんに、「この塾の魅力は？」とインタビューさせてもらった際、「人との出会い」だとおっしゃっていたことがとても印象深く、「出会い」の素晴らしさを伝えられるようなCMにしたいと思いつきながら、その後の制作に臨みました。

実際の史跡巡りにも同行させてもらい、塾生の方々が楽しそうに話をしながら歩いていて、この明るい雰囲気をもっと伝えられたら良いな、と思いつきながらカメラをまわしました。

編集では、『史跡探訪塾に参加した方が、そのときの写真を見て楽しかったことを思い出す』というコンセプトで作成させていただきました。この映像によって、出会いの素晴らしさやこの塾の良さがうまく伝わってれば良いなと、心から思います。



活動懐古のイメージ・シーン

湯川杏菜

初めて自分で取材の依頼やそのためのポイント取りなどを行いました。取材ももちろん大変でしたが、そのための準備も重要なことだと感じました。また、取材先の史跡探訪塾の田端先生を始めとした塾の方々に、とて

も優しく温かく接して頂いたことにも感謝したいです。このような経験を来年度の塾生にも味わって欲しいと感じました。



史跡探訪取材

末永真美

私は、会議のほうには取材に行けませんが、撮影ビデオを見て、塾生の皆さんが真剣にそして、和気藹藹とした雰囲気で行われていてとても楽しそうな塾だと感じました。史跡に同行取材した際には、その場所の歴史を眼でみて確かめたり、塾生の方に教えてもらったりと自分が知らない長崎を多く知ることができました。

撮影や編集ではこの塾の主な活動と和気藹藹とした雰囲気をいかに伝えるか試行錯誤しました。撮影も編集も初心者だったためなかなかうまく撮れてなかったり、編集の仕方が全く分からずなかなか進まなかったけれども、自分達ができる範囲でどうにか完成させられてよかったです。自分たちが作ったCMで史跡探訪塾に興味を持ってもらえたら幸いです。塾生には年配の方が多かったのも、このCMで若い人達の長崎の歴史への興味を喚起できれば、教え、教えられながら、もっと世代間交流ができると感じました。

取材日

08年10月10日：会議撮影&塾長インタビュー

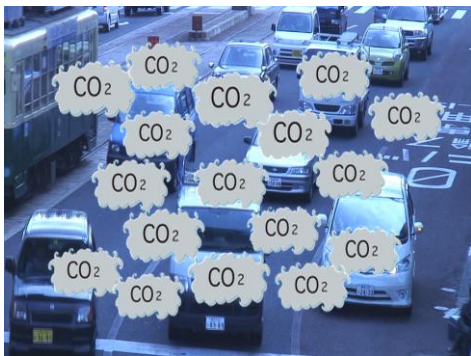
08年11月03日：「彼杵の荘」内の史跡探訪撮影



## (6) 長崎ESTステークホルダー会議塾

藤本美由紀

この塾は、環境問題が進む今日、未来の長崎市域における交通システムについて話し合うことをテーマにしたものです。内容が難しく、取材した映像がいつも会議の場面だったのでCMで何をどう伝えればよいのか迷いました。しかし、塾長や塾生へのインタビューを通して、未来のことについて今からいろいろな立場の人が話し合うことが大切だと聞き、次の世代の人の幸せを考えることや、そのために塾で真剣に話し合う姿を伝えたいと思いました。持続可能な交通を目指す前提として環境問題があるので、それを表現するためにCMの冒頭はCO<sub>2</sub>がしだいに増えるシーンにしました。始めは、CO<sub>2</sub>の色を白色にしており、映像には青空が写っていたのですが、深刻な問題なので暗いイメージにするため、CO<sub>2</sub>を灰色にし、映像も青空が見えないものに変更しました。



CO<sub>2</sub>問題を表現したシーン

野中恵

ステークホルダー会議塾の撮影は、ほとんどの活動が会議のため、映像の変化がなくどうしたら皆さんに伝わるのかで悩みました。そこで、いろんな方々からアドバイスをいただき、交通の映像や横断歩道を渡る人々などといったイメージ映像なども取り込むように

しました。しかし、撮影のときの天候だったり、撮影しているときに車が通らなかったり、歩いている人などのタイミングが合わないなど、思うような映像が撮れずに、日を変えて何度も取り直しをしました。そして、ステークホルダー塾の成果発表のフォーラムでは、定例会のときにはまた雰囲気が変わり、いい映像が撮れたと思います。

また、ステークホルダー塾は会議塾ということで、どうしても難しいイメージを持たれる方が多いかと思います。しかし、取材して思ったことは「『長崎の未来』を老若男女問わず話し合っていく」という、同じ目標を持ち集まることで、コミュニケーションの場にもなっているということです。会議の様子に加えてその楽しさも1分のCMで上手く伝えられたらいいなと思いました。



取材日：会議撮影&塾長インタビュー

08年07月29日、08年08月26日、  
08年12月03日、08年12月20日

イメージ映像撮影：

08年10月15日、09年01月17日



会議撮影中!

## (7) ながさき・ぶらんど物語

### (イノベーション) 塾

濱田希

谷口塾長をはじめ、気さくな方ばかりでしたので、毎回の話し合いは和やかで笑いが絶えず、取材させていただきやすかったです。その影に、会をスムーズに進行し、誰もが発言しやすい柔らかい会となるように心を尽くされていた塾長を補佐する梅元さんのやさしさがあるのではないかと思います。

和やかな会合ではあっても、皆さんの「グラバー」ドラマ化への熱意は非常に強く、その話をするときばかりは強い眼差しで熱意のこもった話し方をされていたことが特に印象に残りました。取材に伺った私たちも、このプロジェクトが実現に向うことを本当に願っております。また、一丸となって同じ目標に向かって奮闘している方々を間近で応援できる経験ができて嬉しかったです。貴重な話し合いに同席させていただき、本当にありがとうございました。



会議の熱気を象徴したシーン

東藤理恵

イノベーション塾では、長崎を今までとは異なったあらゆる目線から見つめなおすことができました。その中でもトーマス・グラバーの大河ドラマ化は活気あふれており、毎回

塾に参加する度、実現するのが楽しみになっていきました。翻訳からのスタートが、たくさんの方々の繋がり合いと協力で、具体化されていく過程に立ち会えたことを嬉しく思います。

取材では毎回学ぶことが多いです。長崎を真剣に見つめ考え、行動する、その活動のど真ん中にいるように感じさせてくれます。県外出身の私にとって、イノベーション塾の皆様と知り合えたことは長崎をより知るきっかけになったと言えるでしょう。今後のさらなる発展と、大河ドラマ化実現を心より願っています。



事務作業中

取材日

08年07月09日：東山手地球館2階

08年10月15日：東山手地球館2階

08年12月10日：東山手地球館2階



撮影の練習中

## 2. 長崎伝習所CM

まつりング

道野慎悟・森彩佳



このCMはテレビ番組宣伝用に制作したCMです。CM伝塾を除く7つの塾を紹介するとともに、「長崎伝習所まつり」を告知するためのものです。

制作で苦労した点は、各塾の取材テープを収集することと、それぞれどのシーンをCMに組み込むか選択することでした。

約30秒の尺に7つの塾紹介を組み込むため、各塾の活動目的やその内容、魅力が一目でわかるようなシーンを選択しなければなりません。そのために取材テープをしっかりと確認し、長崎伝習所HPなどから各塾の情報を集めました。尺を伸ばすことも考えましたが、30秒という制約の中で自分がどこまでやれるのかを試すCM制作にもなりました。

映像表現に試行錯誤し、随分と制作に時間がかかってしまいましたが、結果的には極力無駄を排除したシンプルで視聴しやすいCMになったと自分では思っています（道野）。

petit

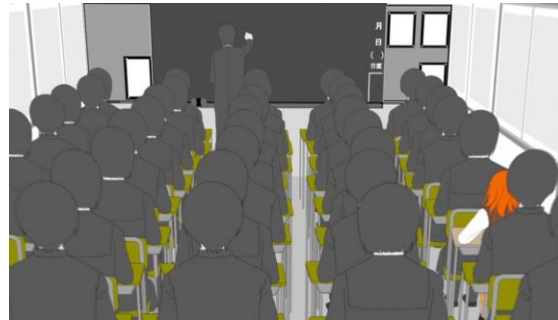
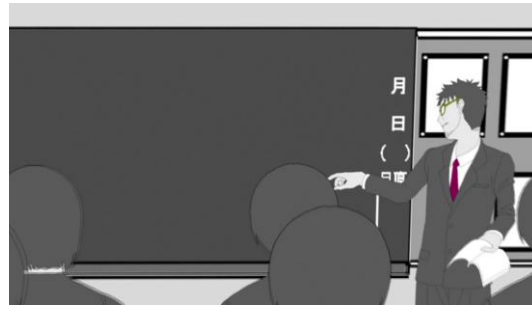
小林由香里・江口真奈美



お菓子を使ったストップモーションアニメに挑戦しました。思い描いているような画がなかなかとれず、映像制作の難しさを実感することとなりました。未熟さが見て取れる映像ですが、試行錯誤をしながら作り上げたのでそれだけは満足しています。

伝塾メンバーと協力して作り上げた映像作品の思い出は深く心に残るものだと思います。いろいろな方と関わり合えたことも良い経験でした（小林）。

どのように撮ればお菓子が「動く絵」として自然に見ることができるようになるかということを考えながら、撮影・編集を行いました（江口）。



絵を描くことが好きな3人が集まってアニメを作りました。内容は受け身で押し込みの教育体制に不満を持つ主人公が学校を捨て、自分が創るもので道を進むというものです。今回はじめてパソコンのソフトを使って素材をアニメーションさせました。使い方も良くわからず作り始め摸索状態の制作だったので、思うような動きを作れず妥協の連続でした。自分は小学校のころから絵を描いてましたが、動画を作り始めたのは大学生になってからなので、動画のデザインはまったく未知でした。編集していく中で、静止画を描くことと動画を描くことは、また違った思考能力があるのだということがわかりました。動画に向いている構図、効率よく動きを作るノウハウ、メリハリのあるモーション、3D的発想など、今回の制作で得られたものはかなりのものでした。今回のアニメでは実践できませんでしたが、これらの学べたことを生かしてこれからのモーショングラフィック制作に当たろうと思います（森）。

初めてのアニメーション制作だったので、みんなでアイデアを出し合ったり、それらを合わせた絵コンテを描いたりするのが楽しかったです。作画は背景の教室を担当して、自分の昔の教室を思い出しながら描きました。黒板から本棚が出てくるシーンは、機械のような動きをうまく再現できたと思います。自分の作業が遅くて、ほかのみんなに迷惑を掛けてしまい申し訳なく思います。でも、完成した映像が動いているのを見ると、感動しました（松田）。

### 3. 長崎伝習所まつり

#### (1) 公式ポスター

長崎を魅力的なまちにするために様々な研究活動をしている伝習所塾が  
1年間の成果を楽しいイベントとして皆さんに発表します！



平成20年度 観る・聴く・創る “湧く 沸く ながさき”  
**長崎伝習所まつり**

平成21年 3月 4日(土)

**会場**  
11:00~16:00 諏訪小学校  
11:30~16:00 ベルナード観光通り

**イベント**  
ウンスカルタ大会  
音楽と絵本の朗読  
郷土のお宝再発見！  
映像編集体験  
シールラリー

つる植物の種無料配布！  
出店&パフォーマンスコーナー  
プロモーションビデオ上映  
ESTステークホルダー・パネルディスカッション  
卒業塾によるイベント

※各イベント内容は都合により変更、中止する場合があります。

**入場無料**

平成20年度  
長崎伝習所「塾」  
発見！真珠！体験南蛮船  
おはなし音楽塾  
「エコ名人を捜せ！」塾  
長崎うんずんかるた塾  
新島崎市の史跡探訪塾  
長崎EST  
ステークホルダー会編塾  
ながさき・ぶらんど物語  
(イノベーション)塾  
CM伝塾

お問い合わせ 長崎伝習所事務局 長崎市真町21-1(長崎市市民活動センター内) TEL 095-829-1125 FAX 095-829-2925 E-mail denjusho@chy.nagasaki.jp

今まで自分が絵を描くときはフォトショップで描いていましたが、ポスターということで今回はペイントソフトではなくドローソフトに挑戦しました。いろいろな案を描きましたが、初期はメインビジュアルがうまく描けなかったり、余白の扱い方が下手だったり、フォント選びに困ったりと、紆余曲折がありました。最終案では、人間を描くのが得意なので塾長達をモチーフに描きました。長崎伝習所は、伝習所という一つのものではなく各塾の集合体のようなものだと思うので、それぞれの塾を集めるという点で、塾長達を集合させる案は良かったのではと思います。ポスターを作っていく中で、自分ひとりではおかしい箇所気づけませんでした。先生や先輩、友人達、さらには伝習所の方々の助言のおかげで、細かいところまで調整できました(森彩佳)。

(2) スタンプラリー用シール

<p>発見！実現！ 体験学習塾</p>	<p>おはなし音楽塾〜 親子で楽しむ音楽 ものがたり〜</p>	<p>「エコ名人を探せ！」 塾</p>	<p>長崎 うんすんかるた塾</p>
<p>新長崎市の史跡 探訪塾</p>	<p>長崎 EST ステーク ホルダー会議塾</p>	<p>ながさき・ブランド 物語 (イノベーション) 塾</p>	<p>CM 伝塾</p>

最初はスタンプラリーということでしたが、各塾から頂いた案がとても鮮やかだったので、それをいかすためにシールに変更しました。シールは「案」をスキャン、フォトショップで編集し、本来はQRコード用に使われているプリンタラベルに印刷して作成しています。最初はどうなるか不安でしたが可愛らしくできましたと思います（高橋美鈴）。

(3) CM 伝塾成果作品集 DVD パッケージ

--	--

CM 伝塾のロゴやジャケットを制作させていただきました。今回のロゴは明るくポップなイメージで制作を進めてまいりました。学生が手がけたひとつひとつのCMにそれぞれ個性があり、そのCMひとつひとつを長崎の多くの人々に愛してもらえたらいいなという願いがこもっています。CM 伝塾のDVDを手にとってくださいました人々、CMを見てくださった人々へ少しでも元気を届けることができれば幸いです(松下かほり)。

#### (4) ぷりくら



お客さんが楽しめるものをもったので、いろんなタッチのイラストを塾生からいただいて、プリクラ用に加工させていただきました。操作方法も簡単になるように、画面構成も工夫しました。たくさんの人に来てほしいと思います（松田太一・堀池芙美子）。

#### (5) パネル



模造紙2枚分のパネルをどう埋めるか悩みました。私たち CM 伝塾では各塾取材・撮影を行って CM 作成しています。今回は私たちがどのようなところへ足を運び、どんな CM を作っているかを紹介しています。それぞれ見たもの感じたものは違いますが、取材を通して貴重な経験をさせていただき多くのことを学んだことは確かです。CM 作品では各塾の個性も見られます。完成作品すべてを紹介することはできませんでしたが、その一部を掲載しています。動画から切り取ったため写真が見にくくなってしまったのが残念です。取材地の様子も貼っています。パネルで、CM 伝塾の活動内容や CM 製作の様子を知ってもらい興味を持っていただければ幸いです。最後に、私たちにこれだけ濃い内容で、多方面に渡り学ぶ場を提供してくださった塾のみなさまに感謝します（東藤理恵）。

#### 4. 総括

浜本梓

今回初めて、CM伝塾に参加しました。卒業以来久しぶりに学校を訪れたので、とても懐かしかったです。卒業してからは、映像に携わることもなかったので毎回楽しみにしていました。学生のみなさんに交じて作業するのも新鮮でとても楽しかったです。また機会があれば参加したいと思います。

長崎伝習所まつり実行委員 野中恵

今回の「伝習所まつり」では初めて、塾生が自ら計画・準備などをする事になり、月に1、2回実行委員会をひらき、「まつりのテーマ」から「どうしたらまつりが成功するか」など、何度も何度も話し合いを重ねてきました。ときには意見が分かれたりして、思うように話が進まなかったりすることもありましたが、実行委員会を開くことで他塾との交流の場ができ、またお互いに良い刺激を受け、各塾の活動に活気が出てきたように感じました。

会計・連絡係 渡部奈央

私は昨年から引き続き、CM伝塾に2年目の参加でした。今年は主に、会計、連絡係、毎月の集まりの日程調整などをしました。昨年と違って作品づくりなどには参加できませんでしたが、責任のある仕事ができよかったと思っています。

また、今年は塾の代表として研修（九州創発塾鹿児島大会）にも参加しました。日頃関わることでできない方々とお話ができたり、九州の未来について考えることができ、視野を広げる大変よい機会になりました。

このように、今年もCM伝塾に参加し、様々な方と出会い、充実した活動をすることができたと思います。これからも、この2年間で学んだ多くのことを活かしていきたいと思えます。



副塾長 掛江祐未

昨年から引き続き参加させていただき、今年で2年目の活動となりました。昨年は先輩方がおられ、わからないことがあればすぐに教えてもらえる状況でした。編集だけをしていればよいと思っていた自分は先輩に頼ってばかりでした。なんとか乗り切ってきた状態から、今年は自分が一番上の学年になり、昨年とは逆の教える立場になりました。自分ですること、教えることは大きく違いました。自分ではできるのに、他人に教えるということ、言葉にするということはとても難しく苦労しました。

副塾長という立場で、がんばらせていただきましたが、取材に行くことがなかったため、他の塾生との関わりが少し足りなかったかなとも思います。編集初心者の塾生が多い中、教えてあげられなかったことが多く、少し後悔が残ります。全員集まれる機会も少なく、コミュニケーション不足だと感じたこともありますが、笑顔で乗り切れ多くの人と関わったことは私にとっていい思い出になりました。

私は、今年から就職します。大学生活では毎日映像編集をしてきましたが、就職と同時に



にその生活から離れることとなります。最後まで映像編集という自分の好きな分野に携われたのは、この伝習所のおかげだと思っています。良い映像とは何か。未だに見つけることができませんが、楽しみは見つけることができました。ここで得た経験をもとに、就職してもがんばっていこうと思います。

#### TV 番組出演 森彩佳

私の声は視聴者に届いているのかな。私はそう感じながら質問に答えていました。話すことは決まっていたはずなのに、いざスタジオに入ると頭と口が上手く回らず、喋りながら自分の声がとても小さいことを認識できました。

本番は約 10 分の尺をもらっていたのですが、実際は 8 分ほどで、少し物足りない感じもしました。この状況でも、共に出演した吉田塾長は伝えるべきことを的確に伝え、持ち前の明るさも出ていました。その点私は、言葉を選ぶ余裕もなく、自分の本心が語れていたとは思いません。



#### 番宣用作品の制作 道野慎悟

私達 CM 伝塾の役割は、長崎伝習所を第三者に伝えることです。例えば、私が楽習塾を第三者に伝えることになった場合、まずは私にその塾の活動目的や魅力が伝わっ

ていなければなりません。要するに、塾の活動目的や魅力を知って、その意義をしっかりと受け止めておく必要があるのです。そうすることで初めて、楽習塾の本質を第三者に伝えることができると思います。

しかし、そこで私はもどかしさを感じてしまいます。どうすれば上手く伝えることができるのだろうか、より効果的に伝えるためにはどうすればよいのか。伝えたいものはたくさんあるし、その情報には価値もある。でもなかなか上手く伝わらない。そういうもどかしさです。今回の番組宣伝でももっと上手く宣伝できたはずなのに、声で伝えるという技術が不足していたため、CM 伝塾塾生としての役割を果たせなかったと思います。このもどかしさを克服するため、積極的に人と話し、その人のことを知ることから始めたいです。

私の 1 日のテレビ視聴時間は、約 6 時間です。見たいテレビ番組をもとに、その日のスケジュールは構成されます。そんな私がテレビ局と関わりを持ち、学生レポートとして映像制作をさせていただくことになりました。それはちょうど 1 年前の出来事です。

私に声をかけてくださったのは、NBC 長崎放送制作「あっ！ぷる」のプロデューサーである林田さんでした。経験も技術もない私に、なぜ映像制作の話を持ちかけてくださったのかわかりませんが、林田さんからお誘いの電話を受けたとき、私の作品が良かれ悪かれ他者に届いていたという事実に感動しました。今後も映像制作の道を進むことに決めていた私は、すぐにお願ひしますと返事をしました。

1 年間で 3 つの特集を「あっ！ぷる」内にて、制作させていただきました。学生レポートという形で、現在の学生の価値観や考えな

どを映像にまとめたのが2つ。1つ目は、お笑い芸人を目指す女子学生を主役に、大学生の就職観と就職状況をレポートしました。2つ目はゼミサミットと題して、大学内の国際ジャーナリズムを専門とするあるゼミに協力を要請し、当時話題であったイラク情勢と日中関係について議論していただきました。この企画のねらいは、自分と世界情勢をどの程度関連させて日々を過ごしているのかを明らかにすることと、教員が伝えたいものと学生が教わりたいものにギャップはないのかをレポートすることにありました。

3つ目は、長崎伝習所に関する特集でした。長崎伝習所の在り方や社会的意義、各塾の目的や成果、長崎伝習所まつりの意味を映像とスタジオトークでまとめました。私はCM伝塾に所属しており、その活動は長崎伝習所をPRすることです。PRの1つとして特集を組んでいただきました。

どの作品も林田プロデューサーの助言と手

直しがあったからこそ、完成したものです。私はただ映像素材を集め、必要書類を作成し、その他の調整を行っただけだと今は感じています。しかし、このNBCとの1年間の関わりからは実に多くの、そして価値ある経験ができました。学生時代だったからこそ実現可能であり、映像経験が少なかったからこそ吸収できた技術があったのです。

コーヒーを飲みながら、昼飯を食べながら、お酒を飲みながら、私は私の映像制作に対する想いと信念を林田プロデューサーに伝えました。同時に、林田さんから学べる知識や盗める技術はないかと考えながら、お話をしていました。林田さんの言葉1つ1つが私を成長させてくれました。人物をただ映し出すだけではなく、その人物を語るような撮影方法と演出をすること。説明だけに終わらず、視聴者がもっと知りたいと感じる工夫をすること。私が1日6時間もテレビを見ていられる理由が今ならわかります。

## 5. 塾会議開催日程

日付	会議・イベント名	参加人数	内 容
04/29	準備会議	14名	平成20年度の方針について打ち合わせ。
05/08	第一回塾会議	24名	開所式に出席後各塾に分かれて打ち合わせ。
05/17	第二回塾会議	19名	自分達のプロモーション・ビデオを制作。
08/07	第三回塾会議	15名	取材成果の検討と取材計画の吟味。
10/16	第四回塾会議	12名	取材成果の検討と取材計画の吟味。
12/13	第五回塾会議	13名	伝習所まつりの企画、取材成果の検討。
01/24	第六回塾会議	8名	伝習所まつりの企画検討。
02/26	第七回塾会議	13名	報告書の内容検討。「あっ！ぶる」、「できたてGopan」出演の反省会

注) 各塾への取材日程は、取材担当者が記した成果報告の中にまとめてある。

また、上記以外に取材準備・取材VTRの編集、CMに必要なイメージ映像や画像の作成・撮影・編集等を行っている。



重島 加奈

西村 文男

大平 香織

掛江 祐未

堀池 ふみこ

A

小林 由香里

石井 順子

釣船 みゆき

松田 太一

野中 恵

B

C

田嶋 千裕

濱本 梓

高橋 美鈴

中村 真理子

D

森永 真名美

森 彩佳

藤本 美由紀

渡部 奈央

# CM伝塾

塾長	吉光 正絵				
1	石井 順子	21	堀池 芙美子		
2	江口 真奈美	22	松下 かほり		
3	太田 裕子	23	松田 太一		
4	大平 香織	24	道野 慎悟		
5	掛江 祐未	25	三宅 理絵		
6	小林 由香里	26	森 彩佳		
7	重島 加奈	27	森永 真名美		
8	末永 真美	28	山口 花湖		
9	高橋 美鈴	29	湯川 杏菜		
10	田嶋 千裕	30	米森 仁美		
11	釣船 みゆき	31	渡部 奈央		
12	鶴田 由佳				
13	東藤 理恵				
14	中村 真理子				
15	西村 文男				
16	野中 恵				
17	濱田 希				
18	濱本 梓				
19	藤本 美由紀			事務局員	総合企画室 田中 祐介
20	古田 友美				